

JAフルーツ山梨 (山梨県甲州市・山梨市)

実証面積：0.76ha

実証課題名 IoT及びドローンを活用したブドウ栽培技術体系の実証

構成員 フルーツ山梨農業協同組合、NTT 東日本(株)、三井金属計測機工(株)、(有)クレセントエルデザイン、山梨大学、(NPO)山梨情報通信研究所



背景・課題 ○果樹栽培における労働力不足と高齢化への対策が課題
○異常気象など近年の気象変化をモニタリングする必要性



本実証プロジェクトにかける想い

果樹王国山梨の中でも果物主体のJAとして、スマート農業に積極的に取り組みます。

シャインマスカットなどのブドウ栽培にICTを導入し、ハウス栽培を中心に環境データ、作業記録、栽培記録などの記録と見える化を進め、根拠に基づく農業経営を目指します。

また、ブドウ栽培におけるドローンの活用も実証していきます。

- 目標**
- ハウス内の温度のコントロールを遠隔で実現し、温度管理のために立ち寄る回数を1/3に削減する
 - ドローンによる農薬散布技術の実用性について検証する

実証する技術体系の概要

要素技術 ①ドローン、②リモコン式自走草刈機、③作業記録システム、④遠隔操作可能なハウス内複合環境制御システム など

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる！」ポイント			① ②								④	



問い合わせ先

- ▶ **実証代表** 農研機構 果樹茶業研究部門 スマート農業実証事業窓口
smart-nifts@naro.affrc.go.jp
- ▶ **視察等の受入について** smart-nifts@naro.affrc.go.jp